



# 築地市場の豊洲移転を中止し 現在地再整備の本格的検討を 日本共産党都議団が小池知事に提案



豊洲移転中止を申し入れて記者会見する党都議団 =24日、都議会

日本共産党都議団は3月24日、豊洲新市場予定地の地下水再調査で、環境基準の100倍の発がん性物質ベンゼンや、環境基準を上回るシアン化合物、ヒ素などが検出された結果をふまえ、築地市場の豊洲移転計画をきっぱり中止し、現在地での再整備の本格的な検討に踏み出すよう小池都知事に申し入れました。

申し入れでは、この間の調査で地下の汚染の深刻さが明らかになったとして「豊洲新市場は安全・安心が保証できない致命的な欠陥がある」と強調。また、いわゆる「築地の汚染」については、有害物質が検出されたのは隅田川と市場の境にあること、米軍接収時代の洗濯工場で使用されたのは現在使われ

ている有害化学物質ではないこと、アスベストは飛散しないよう封じ込められていることなど、豊洲新市場の汚染とは「質的に全く違う」としています。

さらに「築地再整備は費用の面でも工事期間の面でも十分可能」と強調。土壌汚染状況の調査を直ちに行い、必要な対策を講じることも要請しています。

- 申し入れ項目
- 1、築地市場の豊洲新市場への移転をきっぱり中止するとともに、現在地での再整備について、都民、専門家の英知を集め、市場関係者の合意を得ながら、本格的に踏み出すこと。
  - 2、石原都政以来、18年の長きにわたり、必要な修繕・補修を怠ってきた築地市場の本格的改修・補修を急ぎ、衛生面の対策を強化することが必要です。また、築地市場については、環状2号線仮設工事を中断すること、汚染状況の調査を直ちに行い、必要な対策を講じること。



日本共産党は築地市場の東京ガス工場跡地への移転に一貫して反対してきた党として、食の安全・安心と、豊洲移転をめぐる闇の解明に全力をあげます。

都議会議員 **そね はじめ**

豊洲移転に  
水産卸売業者の  
**7割が  
反対**

「築地女将さん会」の署名の取り組みの結果より

# 住民本位の都政つくろう



現在の都政について語る、そねはじめ都議

## 明日のTOKYOを考える

25日、北とぴあ・スカイホールで、「明日のTOKYOを考える」集い（主催・同実行委員会、協賛・みんな選挙@東京12区）が開かれました。

最初に4人のゲストスピーカーが登壇、公益社団法人理事の岡本達思さんが「TOKYOの空と大地」、ひなん生活を守る会の鴨下祐也さんが「福島から避難してのいま」、一級

建築士の水谷和子さんが「築地市場の豊洲移転について」、フリージャーナリストの横田一さんが「都政のいまを考える」と題して、ミニ講演をおこないました。

続いて、参加者からのフリートークキングではゲストスピーカーへの質問が相次ぎ、さまざまな角度から都政が議論されました。

超党派の区議の参加とともに、日本共産党からは、池内さおり衆院議員、そねはじめ都議があいさつしました。（のの山けん）



あいさつする池内さおり衆院議員

## 東京北医療センター

### 63床の新棟(南館)が竣工

北区の医療拠点のひとつ、東京北医療センターはこのほど、63床の増設となる新棟（南館）を完成させ、25日に竣工式を開きました。新棟では、無菌室を含む血液内科や病児病後児室が新設、化学療法室が拡充されるなど機能が強化され、343床の病院へと生まれ変わります。



## 北区新庁舎建設予定地

4月10日まで 区民意見を募集中

北区は現在、新庁舎の建設予定地について区民意見の募集をおこなっています。予定地は、王子駅前の国立印刷局王子工場内に取得する予定です。新庁舎については2009年度に検討をおこない、11年度に建設基本構想を策定しています。